

令和2年度「提案公募型事業」申請書類(2)
< 受 託 申 請 書 >

ふりがな 団体名	ばあば工房『港まち・すこやか倶楽部』						
ふりがな 代表者名	市橋 玲子						
募集期間 (該当を○で囲む)	(第1期) / 第2期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	●	【○】心地よく安心な港まちで暮らす					公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
		【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う					
		【□】みんなと港まちを創る					
提案事業名	『港まちの文化と健康を守ろう』～港まちおでかけサロン～						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	9	6	0	6	0	0	円
期間 (準備～事業終了日)	令和 2年 6月 1日 ～ 令和 3年 2月 14日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

【事業目的】

交流の場の意義:テーマ【○】でもある「心地よく安心して」地域の高齢者が暮らせるように、自分の足で出かけられる場所で、人と人との交流を行える居場所作りを目的とする。また高齢者が抱える課題や悩みに気軽に相談できる場を設け、高齢者が被害者、社会的弱者に陥らないよう支援する。昨年度まで、4回当事業を行って、参加者の要望を再度、検討した。「楽しく参加できるものが欲しい」との要望があるため、毎年好評を得ている「落語会」を継続する。また「音楽とファッションショー」が会場(結婚式場)との打ち合わせが成立せず、昨年実施できなかったが、規模・会場に無理のないように再度計画して、実施する。

(2) 事業の概要

1. 定期的(2回/月)に、ばあば工房を会場とし、交流の場を開く。
健康相談や講座などを実施し、孤立化しやすい高齢の方のつながり・コミュニティ作りを行っていく。
2. イベントとしての「落語会」「音楽とファッションショー」を開催する。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

[港まちおでかけサロン]

地域の高齢者が気軽に、立ち寄ることのできるサロンの開催。

- ①保健師・看護師・ケアマネジャー・医療相談員などによる「健康相談・認知機能低下防止相談会」
- ②講話「豊かな老後に役立つ話・講座」(高齢者の健康・詐欺防止・スマートフォンの使い方など)
- ③楽しみと生きがい、仲間作りを目的とする「手作り教室」を行う。

[イベント] 各1回

落語会:

- ・笑いは、免疫機能をアップする。落語は、日本独自の笑いの文化であり、大いに笑う機会を作る
- ・落語家:柳家緑君、南山大学落研による落語会を開催する。

音楽とファッションショー:

- ・高齢であってもおしゃれを楽しむことは、気分が高揚し、健康アップにつながる。2016年から開催されているアッセンブリッジ・ナゴヤが定着してきている。港の新たな文化である音楽とファッションショーのコラボを目指し、参加者に音楽を楽しんでいただく。
- ・地域住民参加のファッションショーと、アッセンブリッジの音楽公演を開催する。

新型コロナウイルスの対策として以下のことに配慮して実施する。

[港まちおでかけサロン]

- ・参加者、スタッフはマスクを着用し、受付で発熱等の確認、消毒を行う。
- ・サロンは一度の受け入れを5名までとして「3密」にならないようする。
- ・講話は事前予約制とし、人数が多い場合は、入れ替え制を取るなどして「3密」にならないようする。

[イベント]

- ・参加者、スタッフはマスクを着用し、受付で発熱等の確認、消毒を行う。
- ・会場の広さから「3密」にならない定員を設定し、定員以上の申し込みに対しては入れ替え制を取るなど配慮する。
- ・開催の可否については3か月前までに港まちづくり協議会事務局と協議し、決定する。
- * 事業実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、港まちづくり協議会と、よく相談しながら進めることにする。

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

[港まちおでかけサロン]

令和2年6月～令和3年2月の間に、全17回(10時～15時)、ばあば工房にて開催
(うち2回は金剛寺、西築地コミュニティセンターを会場とする)

(健康相談会:4回)

(講話:5回)

(手作り教室:8回) 各2時間程度

[落語会]

令和2年10月予定 会場:信興寺

[音楽とファッションショー]

令和3年1月予定 会場:港まちポットラックビル

3. 想定参加者人数・参加者層

[港まちおでかけサロン]

サロン	4～6名程度/回
講話	10～20名程度/回
手作り小物	5～10名程度/回

[落語会]

落語家：柳家 緑君、南山大学落研
 参加人数：50～70人程度
 対象：一般市民・高齢者

[音楽とファッションショー]

音楽公演：アッセンブリッジ・ナゴヤ(音楽部門との協力)
 ファッションショー：10名程度
 参加人数(観客)：30～40名程度
 対象：一般市民・高齢者

(4) 広報手段

【チラシ】

- ・高齢者サロンの通年チラシ(配布用300枚+新聞折り込み用1000枚)
- ・サロン各回の案内チラシ(100枚)×8回作成
- ・落語会、音楽とファッションショーのチラシ(配布用300枚+新聞折り込み用1000枚)

【ポスター】

- ・港まちおでかけサロンの通年ポスター(50枚)
- ・音楽とファッションショーのポスター(50枚)
- ・落語会ポスター(50枚)
- ・西築地学区内の喫茶店・商店などにポスターを張る。
- ・近隣にチラシを配布し、地域住民から参加者を募集する。
- ・学区商店や地域活動をされている方を通じて、今後の生活に不安のある方々へ伝える。
- ・各回参加者へ次の企画を紹介する。
- ・港まちづくり協議会・社会福祉協議会・いきいき支援センター・老人会・民生委員などから広報協力を得る。
- ・イベント「音楽とファッションショー」「落語会」案内は、新聞折り込みを行う
- ・港まちづくり協議会ホームページ、ばあば工房ブログにて、港まち地域イベントとして、広報する。

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

事業採択後、チラシ・ポスター作製準備・講師依頼・参加者募集・広報開始

6月～2月 定期【港まちおでかけサロン】開始

7月～ イベント準備(落語家依頼・会場手配・チラシの準備)

9月～ イベント準備(音楽家・ファッションショーモデルの募集協力依頼・会場チラシの準備)

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

企画・運営担当者が全体の進行管理、講師依頼、会場手配等を行う。

[高齢者サロン]

会場スタッフ3～4名・補助スタッフ2名

健康相談：講師(保健師・看護師・ケアマネジャー・医療相談員等) 各1名

豊かな老後に役立つ話：講師(各専門家)

講師手作り教室：講師(地域協力者)

[落語会]

準備・当日スタッフ：延べ10名

[音楽とファッションショー]

企画打ち合わせ：アッセンブリッジ・ナゴヤ音楽部門

準備・当日スタッフ：延べ20名

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

- ・今事業は、28年度・29年度・30年・令和元年度事業に引き続き、5回目の実施となり、運営の知見が十分にスタッフに定着している。
- ・開催時には、参加者自らが、それぞれにできる役割を担うことで、ネットワークづくり・他者貢献へとつながっている。各種講師も地域で活動している方々の協力が得られる。
- ・今回は、イベントとして「落語会」「ファッションショーと音楽会」を企画する。オリジナルなおしゃれ・手作りのおしゃれを楽しむ人たちも多く、関心は高い。モデル募集も、地域の手作り教室参加者へ、気軽に声かけができ、募りやすい。落語会は過去の開催においても大変好評である。またアッセンブリッジ・ナゴヤの音楽部門との協力により音楽公演も実現が容易である。

(2) 積算の妥当性

- ・看護師・ケアマネジャー・パソコンインストラクター等、専門職や講座講師、さらに担当スタッフもボランティア的協力が得られるため、安価である。
- ・定期講座を行いながらも、諸経費が少ないため、積算性は妥当である。
- ・今回イベント「音楽とファッションショー」「落語会」は、講師料や会場費が非常に安価である。

(3) 公益性・社会貢献性

- ・高齢者の健康相談や講座は、高齢化率の高い地域に暮らす住民の不安を解消できる。「手作り教室」や「イベント」は、地域住民が地域で楽しむことができ交流の機会を作れる。
- ・本事業は、国が目指そうとしている地域包括ケアシステム(誰もが安心して、住み慣れた地域で最期まで暮らせる)の受け皿としても、地域での助け合いの仕組み作りを目的としている。
- ・古民家を活用している事業としては、昨今の問題「空き家の活用法」のモデルとなる。

(4) テーマとの整合性

本事業は、今後の超高齢社会への不安を地域の中で解消することに貢献する。高齢者支援の地域ネットワークを作ることになり、「心地よく安心な港まちで暮らす」というテーマに合致している。参加者の声から健康・老後・いきがいや楽しみは、住民の関心が高いことが明らかになっている。参加した方が本事業を周囲に紹介して頂くことで、さらに参加者が増え、地域在住の高齢者の方が安心して暮らせる、何かあった時に気軽に相談できる機会の創出に本事業は貢献している。この目的のためにも、定期的・継続的な開催が大切だと考える。

(5) 将来性

西築地学区も他に漏れず超高齢化・空き家問題があり、今後の地域課題として更に深刻化すると考えられる。こうした課題に対し、高齢者に対応できる看護師やインストラクター・講師の役割は大きい。本事業では港まちと縁のある方に専門家として協力頂くことで、より地域に合った支援、サービスが提供できており、今後の持続性も高い。

また、継続して実施することで、スタッフや協力者が本事業の意味を理解し、積極的に参加・協力が得られるようになっている。今後益々、こういった地域住民主体の【交流+楽しみ+助け合える場作り】が、必要とされる。本事業は、超高齢社会の地域において、課題を解消していく活動の第一歩となっていくと考える。

(1) 支出の部

項目	金額(円)						
	千	百	十	千	百	十	円
①外部講師謝金	2	4	4	0	0	0	円
②旅費交通費		1	0	0	0	0	円
③会議費		3	0	0	0	0	円
④物品購入費		4	9	0	0	0	円
⑤借上料		9	7	0	0	0	円
⑥保険料			3	6	0	0	円
⑦人件費	3	2	9	0	0	0	円
⑧委託外注費	1	7	8	0	0	0	円
⑨通信費						0	円
⑩印刷製本費						0	円
⑪事務費等		2	0	0	0	0	円
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)	9	6	0	6	0	0	円

※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。

※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

※消費税・振込手数料なども考慮してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
①外部講師謝金	講師(看護師等):5000円(交通費込み)×4回=20,000円 講師(講話):5000円(交通費込み)×5回=25,000円 講師(手作り教室):8000円(材料費込み)×8回=64,000円 講師(音楽公演):50,000円 講師(落語会):落語家80,000円+南山大学落研5,000円=85,000円
244000円	
②旅費交通費	買い物・打合せ・広報等スタッフ交通費
10000円	
③会議費	打ち合わせ会議時のお茶代:500円×6名×10回=30,000円
30000円	
④物品購入費	開催日用の茶菓代:1,000円×9回=9,000円 音楽とファッションショー費(備品・茶菓など):20,000円 落語会の茶菓代:20,000円
49000円	
⑤借上料	ばあば工房会場借り上げ費:5,000円×15回=75,000円 コミセン:6,000円 金剛寺:6,000円 落語会会場借り上げ費(信興寺):10,000円
97000円	
⑥保険料	ボランティア保険1800円×2回=3600円
3600円	
⑦人件費	企画・運営担当:5,000円×19回=95,000円 サロン担当者:5,000円×2名×17回=170,000円 サロン補助スタッフ:1,000円×2名×17回=34,000円 落語会スタッフ:1,000円×10人=10,000円 ファッションショースタッフ:1,000円×20人=20,000円
329000円	
⑧委託外注費	ポスターチラシ作成:100,000円(デザイン・印刷込み) イベント新聞折り込み:6,000円×3回=18,000円 落語会、音楽公演運営支援:60,000円
178000円	
⑨通信費	
0円	
⑩印刷製本費	
0円	
⑪事務費等	文具・備品(コピー紙・インクジェット・マジックインク・のり・テープ)
20000円	
総支出合計=A	
960600円	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください

申請書作成時の注意

- 申請書作成時には、下のチェックリストを参考にして、所定の記入欄に不足なく記入・添付してください。
- パソコンで作成する場合は、申請書の様式の変更、ページの増設をしないで下さい。又、ページの欠落に注意してください。
- 手書きの場合は読みやすく記入してください。

点検欄	申請書項目・添付書類
<input type="radio"/>	1 「提案事業の計画」(1～3ページ)は具体的に事業の内容をイメージできる記載となっているか。
<input type="radio"/>	2 申請書に記入もれはないか。「別紙記入」としていないか。(全てのページ)
<input type="radio"/>	3 事業の収支計画(5・6・8ページ)は、「提案事業」についての収支計画であるか。(団体等の活動全体の収支計画を記入していないか)、計算違いはないか。希望金額(1ページ)と事業の収支計画に計上した金額が合致しているか。
<input type="radio"/>	4 期間に誤りはないか。所定の期間の活動か。(1ページ)
<input type="radio"/>	5 相談窓口を利用したか。(仮受付をしているか)

提出書類チェック

点検欄	種類
<input type="radio"/>	1 令和2年度「提案公募型事業」受託申請書類(1) <団体紹介書> ※片面印刷 ※捺印したかどうかご確認ください。
<input type="radio"/>	2 令和2年度「提案公募型事業」受託申請書類(2) <受託申請書> ※片面印刷
<input type="radio"/>	3 [対象経費明細のエクセル様式を使用する場合] 対象経費明細(様式2)
<input type="radio"/>	4 [団体の場合] 団体等の定款・会則・規約または寄附行為(財団法人の場合)の写し ※片面印刷
<input type="radio"/>	5 [参加費を徴収する事業の場合] 様式1 【徴収される参加費に相当する事業費】

(様式1)	参加費を徴収する事業の方は以下の項目も必ず記入し、ご提出ください。
-------	-----------------------------------

【徴収される参加費に相当する事業費】

(1) 収入の部

徴収する参加費の内容	単価(円)	人数(人)	合計(円)
収入合計			

(2) 支出の部

品目・内容	単価(円)	個数/人数	合計(円)
支出合計			

参加費を徴収する場合の注意点

- 参加費は、事業実施において必要な材料費等の実費分のみとします。参加費で充当される予定の支出品目については、委託金の中に含めて請求することはできませんので、ご注意ください。(充当する予定の支出項目については、上記「(2)支出の部」に記入してください。)
- 収入に関する証明書を精算時に提出していただきます。参加者リストを作成するなどして、人数等が客観的に把握できる資料を作成してください。